令和８年１０月３０日

応　募　者　　各位

熊本大学 発生医学研究所
胎盤発生分野　教授
岡江　寛明

熊本大学発生医学研究所（学術院生命科学域先端生命科学系）・助教候補者の公募について

熊本大学発生医学研究所（学術院生命科学域先端生命科学系）では、幹細胞部門・胎盤発生分野の助教候補者の公募を行います。各種幹細胞（ES/iPS 細胞、TS 細胞等）を用いて、ヒト初期発生の再現と理解を目指す研究に取り組んでいただける方を探しております。研究テーマについては下記 HP を参照ください。

参考：胎盤発生分野 HP (https://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya_top/trophoblast_research/)
研究キーワード: 胎盤、多能性幹細胞、ヒト胚モデル、着床、卵黄嚢

当分野の研究テーマとの融合により、応募者の研究のさらなる発展が期待される場合は、上記実験系、研究キーワードに限定しません。グローバルな視点をもって発生医学研究所、当分野の研究環境を活かし、サイエンスを推進できる方を募集します。

※本研究所の概略につきましては、熊本大学発生医学研究所ホームページをご参照ください。
http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/

（注）本学では、令和９年４月１日から新たな教員人事制度及び教員組織体制に移行いたします。

記

１．募集職名及び人員　　助教　１名

２．所属　　学術院生命科学域先端生命科学系

３．配属　　熊本大学発生医学研究所　胎盤発生分野

４．採用時期　　採用決定後、できるだけ早い時期（ご相談に応じます。）

５．応募条件
博士の学位（海外において授与された、これに相当する学位を含む）を有する者（採用時までにその取得が確実である場合も可とする。）
業務遂行に支障のないレベルの日本語、英語の能力があること
専門分野において十分な研究実績と研究能力を有すること

６．応募期限　　令和９年２月２６日（金）日本時間１７時

７．業務内容
研究活動を主とするポジションで、幹細胞学、発生生物学、基礎医学研究を推進する。分野内での教育活動(実験指導、発表指導など)に参加する。また研究所内での社会的な活動（市民への講演など）にも参加をお願いすることもございます。

８．労働条件等

（１）勤務形態　：専門業務型裁量労働制
　　勤務時間は職員の裁量に委ねるものとし、１日の勤務時間は７時間 45 分とみなす。
（２）任期の定め：あり
　　採用後５年（再任１回）
（３）試用期間　：６か月
（４）勤務場所　：熊本大学本荘キャンパス中地区
（５）時間外労働：時間外、深夜、休日労働の有無　有
（６）賃金等　　：国立大学法人熊本大学２号年俸制適用職員給与規則の定めるところによる
（７）社会保険　：文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
（８）雇用者　　：国立大学法人熊本大学

９．提出書類【別記様式】

（１）履歴書【別記様式１】　１部
　　男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。
（２）業績目録【別記様式２】　１部
　　発表論文、学会発表、競争的研究資金の獲得情報を記載ください。
　　論文については URL を記載ください。
（３）主要研究論文【別記様式３】　１部
（４）研究・教育に関する業績の概要【別記様式４】　１部
（５）研究・教育に対する抱負【別記様式５】　１部
（６）推薦書（推薦者の氏名、所属、連絡先も記載ください）　１部

※　提出書類は pdf 化して提出先 E-mail アドレスにお送りください。(48 時間以内に返信がない場合は下記まで問い合わせください)
※（１）～（５）の様式は、以下のホームページからダウンロードできます。
・熊本大学ホームページ〔採用情報〕　https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/index
・熊本大学発生医学研究所ホームページ〔求人案内〕　http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/

１０．選考方法

書類審査を行ったのち、Web または対面によるセミナーを行います。必要に応じて面接審査を行う場合があります。
※　応募者全員に審査結果を連絡します。

１１．書類提出先・問合せ先

国立大学法人 熊本大学
発生医学研究所　胎盤発生分野　岡江　寛明
E-mail : okae[at]kumamoto-u.ac.jp　　[at]を@としてください
※メールの件名を「助教応募書類の提出(応募者の所属・氏名)」としてください。

１２．その他

（１）提出書類に記載された個人情報は、国立大学法人熊本大学の定めに従い、当該選考及び採用以外には使用しません。
（２）熊本大学は男女共同参画を推進しています。また、発生医学研究所では独自の男女共同参画推進事業を行っています。